

ご使用前には必ずこの説明書を
全てお読みいただいた後、
お取付・ご使用下さい。

鍵の収納BOX 大容量 キーストック Wダイヤル

要保管

●キーボックス設置前のご注意
家や車のリモコンキーの中で、「鍵の収納 BOX」の設置場所によっては、鍵が感知してしまう恐れがございます。ご注意の上、開錠しない事を十分に確認して頂き設置場所を決めて下さい。

II シャックル部・暗証番号変更方法

※本体出荷時には、「000」でセットされております。
※暗証番号設定後に再度番号変更される際は、現時点で設定されている暗証番号でシャックル部を解錠した状態から暗証番号設定開始となります。
※シャックル部の暗証番号を設定する時は、使用される場所に取り付けた状態で行わずお手元で行って下さい、誤って番号設定してしまった場合に、取り付けた状態で行いますと「その場より外せなくなる」のでトラブル回避のためにもお守り下さい。
シャックル部のダイヤルを設定された暗証番号（出荷時は「000」）に合わせます。
※スライドスイッチを右に動かしながらシャックルを引き上げて、引き上げることが出来れば解錠状態なので、この状態より番号変更を行います。**画像1**

画像1 シャックル→

右に動かしてシャックルが引き上ければ、解錠状態

スライドスイッチ

右側

①指で左側に動かしたまま番号設定

画像2 シャックル→

右側

右側

②番号設定後、指を離して戻す

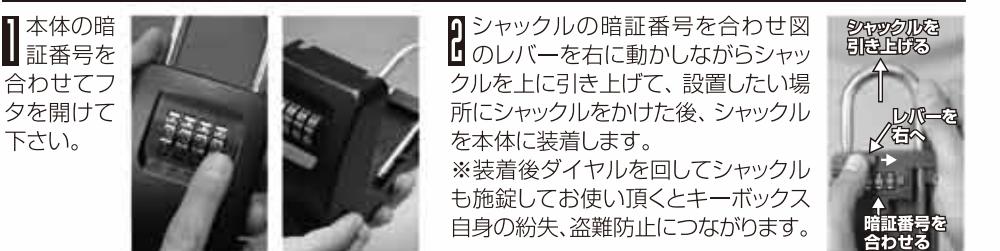
注意 本体ダイヤル4桁・シャッフル部ダイヤル3桁共に、暗証番号が設定された番号で無く、間違った番号から番号可変を行なう事は出来ません。
間違った操作をしますと、正しく番号設定が行えない場合がありますので、必ずお守り下さい。

左に動かしながら(画像1)お好みの番号に設定します。(番号設定中はレバーを左に動かしたまま設定します。レバーから手を離さとしレバーが元に戻り、戻った時点での番号に設定されますのでご注意下さい)
※暗証番号設定操作以外では、ダイヤル右側のバーを動かさないよう手を離して設定完了です。(画像2)は「1-2-3」に設定しています)
※暗証番号を設定された後再度番号を変更される場合は、その時点で設定されている番号に合わせて解錠状態にしてから①→②の順番に設定して下さい。
※①②の作業は、解錠状態であればどちらクリックしてもいいですが、で

注意 暗証番号を変更された場合は忘れないよう、記録を行い自己管理を責任をもって行って下さい。
※通常の使用では、勝手に暗証番号が変わってしまうことはございません。
暗証番号の管理は自己責任において管理して下さい。

※収納部内の3桁ダイヤル下の穴については、説明書表側の裏面にあたる部分に記載ある『物件管理業務上の新しいキー管理』に書かれている鍵の盗難対策までの内容は意識されないが、鍵の落下・紛失等を防ぐ為にヒモ等でつないでおける穴になります。
尚ワイヤーやヒモ等でキーとキーBOXをつないでおりますと、ワイヤーやヒモの長さによっては、閉めた時にキーBOXの収納部の表蓋・裏蓋の間に挟まって、次回開ける時に暗証番号を正しく設定しても表蓋が開かない恐れがあります。暗証番号を合わせた後、蓋が開かずそのような可能性がある場合は、暗証番号を合わせた後、裏側より表蓋の周囲を開けるように工具等で軽く叩いて頂ければ開く場合がございます。その際はキーBOX自身が破損しない程度に加減をしながら行って下さい。

III 設置方法



3 設置場所にセット完了後収納物を入れフタを閉めて下さい。
※最後にダイヤルをランダムに動かしてロック完了です。
※設置場所から本体が外れないか確認して下さい。




フェンス・格子等に ドアノブに

4 ドアレバーに取り付けの場合
※図の様に「キーボックス」がレバーから外れてしまう場合には、付属の「レバーハンドル用アダプター」を使用します。
※アダプター使用時のレバー内径 27mm になります。レバーの種類によっては、アダプターを使用しても外れてしまう恐れがございます。必ず外れないか確認してからで使用下さい。




アダプターが無いと外れてしまいます。 アダプターの使用で外れなくなります。

IV. 保護シートの貼り方

